

このセミナーは
会員限定
無料

交通工学

～道路計画と道路幾何構造の基礎から発展まで～

ライブ配信 オンデマンド配信

開催内容

交通工学は、人や物の移動を明らかにして、安全・快適な交通環境の実現を目的とする土木工学の一分野であり、道路の計画や設計に欠かすことができない分野です。

本講演会では、交通工学の中でも、特に道路の安全と円滑な交通を確保するために重要となる幾何構造を中心に、道路分野の交通工学に関して、基礎的な知識から最新の研究課題の動向まで、幅広く紹介します。

プログラム

日程：**2月6日** 月 13:15～15:15
オンデマンド配信：2月10日～3月31日

▶ 道路計画と幾何構造の基礎知識

講師：**河本 直志** 国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路研究室 主任研究官



2010年に国土交通省に入省。主に道路行政や、道路交通に関する研究に従事し、2021年4月より現職。道路の幾何構造や事業評価に関する研究を行っています。

道路構造令の概要（趣旨や特徴等）や、改正の経緯（改正時の背景や改正内容）について解説するとともに、道路の区分、設計速度、幅員、曲線半径、視距等、主な規定の内容について解説します。

▶ 安全、円滑、まちづくりに資する道路構造と制御

講師：**鈴木 弘司** 名古屋工業大学 大学院工学研究科 社会工学専攻／社会工学教育類 准教授



2003年名古屋工業大学助手、同大学助教を経て、2008年より現職。博士（工学）。専門は交通工学。交通計画。平面交差点や生活道路の交通安全などについて研究。

安全、円滑、まちづくりに資する道路構造と制御として、単路部二段階横断施設の特徴、計画上でのポイントを解説します。また、ラウンドアバウトや物理的デバイスとの組み合わせによる効果などについても紹介します。

▶ 諸外国の道路構造基準

講師：**野平 勝** 一般財団法人国土技術研究センター 道路政策グループ 副総括



国土技術研究センターで道路政策に関わる各種調査・研究をしています。PIARCでは海外の道路構造基準の最新動向を各国の技術者と協働でとりまとめています。

諸外国の道路構造基準について、欧米を中心に規定されている内容を日本との比較を行いながら解説するとともに、その他の国の動向についてもPIARCのタスクフォースでの取組を中心に紹介します。

申し込み方法

参加を希望される方は、当協会ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。



講習会にご参加頂いた方には、今後のセミナー内容や開催方法等に関するニーズを把握するためのアンケート調査にご協力いただきますので、よろしくお願いします。

お知らせ

本セミナーは、土木学会CPD制度の認定セミナーとなっており、土木技術者の皆様の知識向上や自己研鑽の証跡となるCPD単位が取得可能です。